

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
6		鈴木孝寿	1 修学旅行における教育委員会の考え方について 小中学校の修学旅行は全額を公費で負担している。この事は保護者からも大変助かっている声を聞く。しかし、キャンセル料の考え方は、普通の旅行取扱と変わらず、不測の事態があれば個人負担となっている。全額公費負担で行う修学旅行の意味は、教育上必要と判断した中で実施するものと考えてるが、キャンセル料の考え方から読み取ると、矛盾を感じる。教育委員会として修学旅行をどのように捉えているか伺う。 2 まちづくりの基本となる町内会組織の今後の在り方について 町の活性化の基本は町内会の活動と考えるが、少子高齢化に伴い、現状活動の鈍化は否めないと考える。町内会会費においても、町内会において凹凸があり、各種負担金も小さな金額ではない。将来像を検討する上でその活動や負担をどのようにすべきか、町として町内会活動への在り方を考える時期がきていると思うが、町の活性化に向けた町内会に限らずとも今後について町長の考えを伺う。

質 議 席	問 氏 名	質 問 事 項
3	只 野 敏 彦	1 前副町長解職について 新聞報道によると、町長選で初当選した辻町長の就任式が2月28日9時から行われ、その30分後には、任期途中の山本副町長を解任したと報じられている。 地方自治法第163条には「副町長の任期は4年とする。ただし普通地方公共団体の長は、任期中においてもこれを解職できる」と定められているが、町民の中には解職した行為、その理由に疑問の声も上がっている。 役場の刷新をという町民の声を受けてのことであるが、以下について伺う。 (1) 役場の刷新とは、具体的に何を指すのか。 (2) 役場の刷新という理由で副町長を解職することは、法的には問題ないのか。 (3) 町民の声とは具体的にどのような声なのか。

質 議 席	問 氏 名	質 問 事 項
4	川 上 均	1 「町民との合意形成」「町民との対話」についての基本的考えを問う 辻町長の掲げた公約について多くの町民が期待し、実現に向けてその期待は高まっている。一方で、今後の事業執行においては「町民との合意形成」、特にていねいな説明と納得性が求められるが、今後の事業展開における町長の基本的考えを伺う。 (1) 町民との合意形成と、協働のまちづくりについての考え (2) 町民との対話についての考え 2 「職員との信頼関係の構築」及び「職員の人材育成」についての考えを問う 辻町長の掲げた公約の実現については、町長一人ではなく職員個々の潜在能力の発揮と資質向上が求められる。その大前提となるのが職員との信頼関係の構築と考えられるが、今後どのように職員に対し臨んでいくのか町長の基本的考えを伺う。 (1) 職員との信頼関係、特に職員との継続的対話についての考え (2) 職員個々の潜在能力の引き出し、人材育成についての考え 3 町内会との連携についての考えを問う 町長の公約発信や新年度予算を町民に説明する上で、様々な手段があるが、以前は町内会長及び町内会連絡協議会に対し毎年説明会があり、大切な役割を果たして来た。今後もこれら団体との連携が重要と考えられるが町長の考えを伺う。 4 ふるさと納税を活用しての楽器寄付についての考えを問う 以前より、学校の先生方から吹奏楽に使用する楽器が古く、カビや錆が発生し何とか更新できないかと言われ、予算委員会等で質問した経緯がある。楽器は高額で、一度で全体の更新は難しいことは十分理解はしている。そこで、今全国的にふるさと納税制度を活用した楽器の寄付が広がっていると聞いたが、制度活用について町長の考えを伺う。